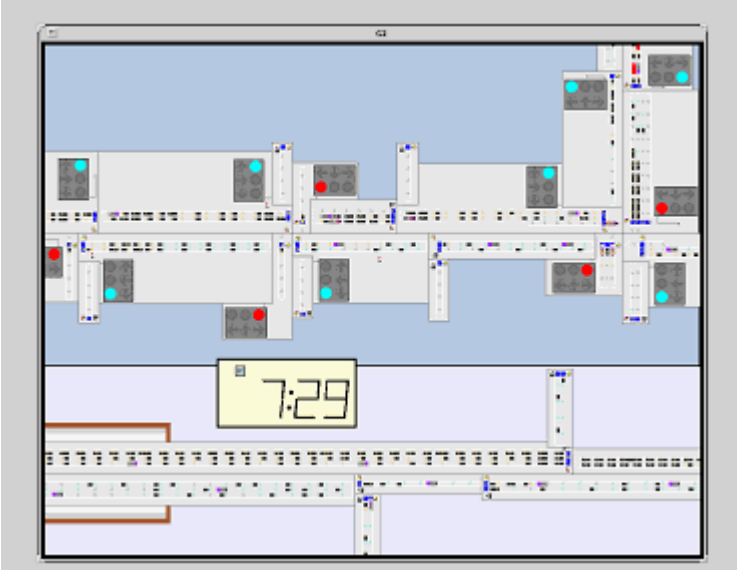


シミュレーションモデル適用事例シート

大分類	交通施策評価	小分類	信号制御	シミュレーションモデル名	AVENUE				
概要	適用事例名	横浜新道交通円滑化施の検討							
	目的・概要	高速道路終点に接続する一般街路の交差点を起点とし、本線まで延伸する渋滞を緩和するための信号現示の改良案を提案する。							
	本事例におけるモデル適用上の特徴								
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	渋滞の起点である交差点から高速道路本線までの全長約 1.8km			対象時間帯	平日朝ピーク時 7:00~8:00			
	評価対象時期	平成 8 年夏							
	対象道路網	高速道路と一般街路からなるネットワーク							
	ネットワーク規模	ノード数	21	リンク数	30	起終点ノード数	11	総トリップ数	12782
		一般街路ネットワーク	交差点数		5	信号交差点数	4	道路区間数	11
		自専道ネットワーク	分岐部数		2	出入口数	3	道路区間数	3
	特記事項								
(ネットワークの概略図面を添付)									
									
入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線数、リンク容量、ジャム密度、自由流速度						
		交差点部	飽和交通流率、右折専用レーン長、交差点内滞留台数、車線別方向規制						
		合流部							
	信号制御	設定パラメータ	信号現示、オフセット						
		作成方法	実測						
	交通需要	設定単位	OD 交通量						
		作成方法	高速道路：車両感知器データ 一般街路：交差点交通量と右左折直進率						
空間単位		ネットワーク端点(OD ノード)							
時間単位		15 分単位							
車両属性区分	小型車、大型車、路線バス								
その他	バス停車時間								
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式、1 秒/1 スキャン							
	パケットサイズ	1 台/1 パケット							
	経路選択原理	経路選択なし							
	特記事項	経路選択の余地のないネットワーク形状							
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	交差点流入部の飽和交通流率						
		方法	区間旅行時間と交差点の通過交通量が実測値と等しくなるようにパラメータを調整						
	検証方法	区間旅行時間と交差点の通過交通量を用いた検証							
	検証用データ取得方法	1)交差点通過交通量 実測(交通量調査) 2)区間旅行時間 実測(ナンバープレートマッチング調査)							
出力データ	1)交差点通過交通量 2)区間旅行時間								
記入者	所属機関・部署	(株)熊谷組 土木本部 社会システム部 交通システムグループ							
	電話	03-5261-5526	FAX	03-5261-5576	HP	http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/index.html			
公表文献・資料等									